



準備

新しいステージに

向かって



Towards a new stage.

「新しい挑戦」、「新しい環境」、「新しい世の中」、次のステージに行くために必要な「準備」

世の中が大きく変わってきた 2021 年、それより大きく変わるかもしれない未来。

不安定な世の中での準備は万全でしょうか？

オオスミは明るい未来に向けて、地球に暮らす人々に「安全」と「安心」を提供し、
環境面から新しいステージへの準備を支えていきます。



株式会社 オオスミ
代表取締役 大角 武志

Osumi
Way

未来の行動へのシミュレーション

しかし、あまりにガチガチに決めすぎてしまうと旅の醍醐味が失われてしまいそうなので、ある程度は現地任せ、現場で判断する余裕も組み入れます。アクシデントは避けなければなりません、嬉しい旅のハプニングは大歓迎です。

長距離ウォーキングの大会でも準備の大切さを知りました。行き当たりばったりで100キロウォーキングに挑戦し、60キロ地点でリタイヤしてしまった翌年の再チャレンジでは、準備にかなりの時間をかけました。時速何キロで歩くか？休憩はどこでとるか？などといったタイムマネジメントの他、足の裏に負担をかけないようにするにはどうしたら良いか？豆を作らないためにどうしたら良いか？食事をとるタイミングとその内容はどうするか？など準備しなければいけないことはたくさんありました。当日は、「ここまで準備したのだからあとは楽しもう」という気持ちになりました。

“予期せぬ成功”、“予期せぬ失敗” が次への準備

仕事の準備の場合も基本的には同じだと考えています。しかし、“段取り八分”で準備しながらも仕事の場合はなかなか予想通りにはいきません。ですので私はハプニングを楽しむことにしています。ここでいうハプニングはアクシデントではなく“予期せぬ成功”、“予期せぬ失敗”です。予想通りにいかないからこそ現実を受け止め、お客様の声に耳を傾けることが大切だということは、ピーター・ドラッカー氏の著書から学びました。

電子顕微鏡とその専用ラボを、オペレーターをお付けして貸し出す『ゆあらぼ®』は、実験をしてみたいけれども装置を保有されていない中小企業向けに始めたサービスです。しかし始めてみると大手企業のお客様からのご依頼が多く驚きました。そのお客様の会社でも保有しているはずなのに何故？という疑問が生じ、実際にお話を伺ってみると、「横浜という場所が便利」、「使い勝手がよい」、「サービス対応がよい」、「オペレーターの人が親切丁寧」などのありがたいお言葉を頂きました。“予期せぬ成功”です。

私にとっての「準備」、それは「未来の行動へのシミュレーション」であり、同時にハプニングを楽しむための2割を残した全てであると言っても良いかもしれません。

本イヤーブック第10号は、若い社内編集委員たちが準備を重ねて頑張ってくれました。お時間のある時にいろいろな紙面をお楽しみ頂けたら幸いです。



MESSAGE

今号のテーマが「準備」と聞いて、自分にとっての準備とはどんなことだろうかと改めて考えてみたところ、私は“未来の行動へのシミュレーション”ではないかということにたどり着きました。

例えば、山登りに行くための準備には、まずは目標とする山の情報を調べる事があります。山頂の標高だけでなく出発地点との標高差、ルート、歩く速度、休憩の場所、水場、景観、持っていく荷物、登る季節によって変わる様々な情報、そして万が一のためのシミュレーションです。地図を見ながら頭の中で歩くルートを想像することは楽しい時間であると同時に、道迷いなどのアクシデントを防止するシミュレーションにもなります。「段取り八分」という言葉がありますが、この準備計画の時点で山登りの8割とはいえないまでも半分は終わっているような気がしています。

Overseas

海外事業

ベトナム ダナン

現地法人立ち上げに関する準備

オオスミベトナム 社長 米田 善治



私が海外を担当した2019年には、すでに先輩達のご尽力の下、オオスミベトナム現地法人の設立、草の根案件（一般住宅の省エネ事業）を推進すると同時に民間企業への省エネ事業を開拓するとの基本方針が決まっておりましたので、私のミッションは「準備」というより、準備事項に基づく「実現」にありました。

海外取引におけるリスク

国内外を問わず、新規市場開拓や商品開発の達成には、リスクが伴い、コストがかかります。このリスクを最小化するため周知な準備が必須になります。この準備には、市場調査は勿論の事、取り組む決意の醸成と進める上での環境づくりが含まれます。新規案件には後方支援をいただく方々の協力確認を得ておくことが非常に重要です。

特に海外市場の場合、ルール、商習慣が違い、現地には適切な情報やアドバイスを提供

してくれる真の味方がいままので、潜在リスクが増します。

いくら調査をしても限界があり、ある程度のところで見切り発車をするしかなく、その結果、想定外の局面に出くわすことになります。

そのリスクマネジメントのため、海外市場を良く知っているというコンサルやブローカーを頼ることになるのですが、この任命もリスクが大きく、費用だけが発生し何も解決できないという事例は枚挙に暇がありません。



準備・調査から成功に繋がったODA

一方、リスクを最小化し海外市場に入り込むために、ODA案件をきっかけにする戦略はしばしばとられますが、オオスミはこれを実践した成功例だと思います。

ODA案件の事業者として現地に貢献しながら、現地事情を知り人脈を構築し、コマーシャル取引に成長させ、継続して行く方法は、当社の初期投資負担やリスクを軽減できます。

社長始め諸先輩達の慧眼には敬服するところですが、この判断も当時の周到な準備、調査活動の賜物であったと推測します。

今後も、オオスミでは、多くの方々が新規案件に果敢にチャレンジして行くことと思います。

実現に向けて、周到な準備と強い決意で頑張っていたきたいと思います。

変わり続ける社会の中で
柔軟にチャレンジをし続ける!

ゴールを追い続けるための「準備」ではなく ゴールを柔軟に変えられるための「準備」とは

計画力と柔軟性

「計画的偶発性理論」をご存知ですか?この度、コラム寄稿の機会を頂き、テーマが「準備」と伺った時に、この理論には必ず触れようと思いました。「計画的偶発性理論」とは自分のプランに従って行動すれば夢やキャリアが叶うというわけではなく、将来は多くの偶然の出来事に左右されて形成されていく、という考え方です。この理論では、「キャリアの8割は偶発的な要素によって決まる」ということが前提のようで、将来のデザインをいくら綿密に行ったとしても、予定通りに進むかどうかは「運しだい」だということです。とはいえ、8割が運しだいだから「夢は叶わない」と論じているわけでもないようです。

「自分は将来、絶対こうなりたいのだ」という一つの目標に固執して可能性を狭めてしまうのではなく、将来は偶然に左右されるものと理解し、なるべく良い偶然を引き寄せられるように意識していく、と提唱している理論なのです。

昨今の、激しく変化を続ける社会をみていると、なにかのプランや目標を立て準備をし続けることが、ますます困難になっていっているのではいか、と印象を受けます。そんな現代において、前へすすみ、何かに取り組んでいくためには、「計画力」と「柔軟性」、どちらも同じくらい大事なスキルではないかと私は考えています。

準備や実行の前にはまず、 オープンマインドになるということ

シンプルなことかもしれませんが、私は未来に起こることよりも、「今」をととても大切にしています。幼少期の私は、とても人の目を気にして行動をする子どもでした。海外出身が、イコール、オープンマインドでコミュニケーション能力が高い、ということには決してならないですね。

幼少期を経て、10代になった私は、「自立がしたい」「親の影響を受けて未来を決めるのではなく、自力でチャレンジできることを増やしたい」とそんな思いを抱え、親元を離れ来日しました。Noプラン、No準備、日本語ももちろん分からず。でも「必ず日本で自立して、幸せになるんだ」という、強い思いを持っていました。

改めて思い返すと、とても無謀なチャレンジだったのかもしれませんが、でも、「将来は〇〇になるのだ」と枠を決めすぎることなく、「目指すべき理想はこんな風なのだ」と鮮明なイメージだけは持っていたと思います。

そうは言っても、日本に来てNoプランでしたので、生きるためには毎日が必死でした。家探し、学校探し、日本語の勉強、等々。そして、そこでいきいきに開花したのがコミュニケーション能力でした。人に頼らないといけない、それはイコール、コミュニケーションを取っていかないと生きていけない、ということに生活しながら気が付いていったと思います。

何の準備もなく、突拍子もない来日でしたが、その先の未来を予測できないということは、裏を返すと、いつどんな好機が巡ってくるかわからないということだったのではないかと、感じていました。

ひょっとすれば、公園でたまたま出会った人が自分の運命を変えるかもしれませんが、日本語を一から学ぶということがきっかけとなり、思わぬ形で今

後の進学や就職先が拓けるかもしれません。

「自分は将来、絶対に〇〇になるんだ」と未来にばかり気を取られていると、目の前にあるせつかくのチャンスや出会いに気づけなくなってしまいます。どのみち先のことがわからないならば、今この瞬間にできることに一杯取り組み、来るべきチャンスに備えてオープンマインドでいることこそが、未来に向けての最大の準備期間なのかもしれない、私はとらえています。

適当さと自他の境界

人の目を気にする子供時代だったのは結果的には私には、プラスだったと思っています。社会人になった今は、「細かいことに気が付く=気配り上手」や「周りをよく観察し、丁寧なコミュニケーションが取れる」としてポジティブな面につながっていると、感じているからです。

ずっと大切に生きてきているのは「人」の関わり、「人とのお会い」。出会った方はみんな一生付き合いたいと思いますし、丁寧に関わることを意識しています。たとえば、仕事においては、任されたことは徹底的に、調べたり整えたり、とにかく自分ができる範囲は全てやりつくします。プライベートにおいても、定期連絡が途絶えてしまったな、と感じるタイミングがあれば、友人知人に季節の挨拶を送ってみたり、用事はなくても定期的に連絡を取るようになっていたりします。

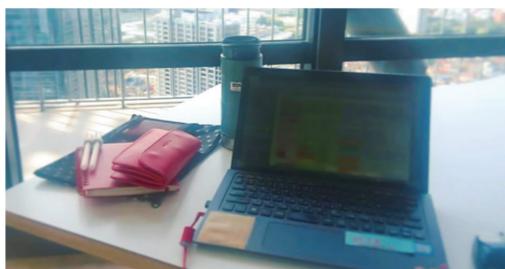
他者へは丁寧、そして一方では、自分に関わることはNoプラン、適当とも言えますし、その時々感性のみを大事にしているのかもしれない。

未知の体験、出産そして、 育児に伴っての休職準備

丁寧に「準備」をした体験のなかで、自分でも笑ってしまうくらい丁寧だったと思うのは、6年前になる、長女の出産でした。出産と育児は、自分自身に関わる事柄でもあるが、多くの方を巻き込むことでもある。当時勤めていた企業では産休・育休を取得予定でしたし、プライベートでも旦那にはたくさん育児に参加してもらえたら、とも思っていました。

当時の私は、育休準備として121項目のチェックリスト、休暇明けの準備として133の項目のリスト、を作り、一つ一つきっちり抑えながら当時のメンバーに業務を引き継ぎました。また、休暇前に個別に連絡を差し上げる方も500名近くおり、出産直前は連日のようにメールボックスがパンクしていたのを覚えています。

家庭内においても、少しでも夫婦で育児に対する不安や悩みを共有し、解決できるように、交換日記のようなノートを準備し、文字で旦那とやり取りしながら、お互いの心情の共有や育児に関して2人が調べたり学んだりしたことを書いていました。



今思えば、やりすぎだったのかもしれませんが、でも、そのやりすぎた準備のおかげで、出産直後のブルーになる期間は訪れず、何の心配もなく新生児の娘を旦那は一人でも見られるスキルを持ち、産休・育休明けにはとてもスムーズに職場に戻れていた、ということを感じています。

自分一人で解決することや決め事(例えば将来の夢や住む国)は計画しすぎず、流れに身を任せる。周りのサポートや周りに影響を与えることは、細かすぎるくらい準備と熟考をしていく。改めて感じる自分なりの「準備力」なのではないかと思っています。

未来への準備力

これからはますます個人の力が問われる時代に入っていくと思います。他者や集団を大切にするとアップで、「自立」「自律」ができるかが、これからの未来をハッピーに過ごせるかのポイントなんじゃないかなと感じています。

自然体であること、予想外のことへの適応能力が高いこと、そんなことを私は意識しています。

未来に向けての準備とは、変化に対応できる力を養うことだと思っています。知識でも、財力や強さでもなく、学びながら変わること、社会をキャッチアップできること、なのではないかと思っています。社会のニーズが変わり続けますし、「こうでなければならぬ」なんてことはないと思っています。ゴールを追い続けることではなくゴールを柔軟に変えられること、それが変わり続ける社会の中で柔軟にチャレンジをし続けるための未来への「準備」のコツなのではないかと、改めて今、感じています。



ビオリーナ・ニコロバ

1989年生まれ。ブルガリア人の母とイタリアとギリシャのハーフの父のルーツを持ち、国籍はブルガリア。幼少時代はヨーロッパで多数の国に住み、10代で単身日本にわたり、千葉大学を卒業。7か国語を操り、大学卒業後はSony株式会社に入社。グローバルマーケティングコミュニケーションおよびブランディングの経験を8年弱積み重ねる。2019年夏にマーケティングプランナーとして独立。地方創生、物流、観光、飲食などマルチな分野でリサーチ・マーケティング立案・コンサルティング・制作を含めサポートを行っている。一方では、2015年に産出、2016年には都心から湘南エリアに移住。現在は6歳になる娘の子育て中。「バックパック親子旅」「日本文化の体験」など親子でアウトドアの楽しみ、子育てをより豊かにするために活動中。

Action for the Next Stage

ACTION 01 法改正対策に対する準備

アスベストに関する法改正 3年越しで徹底強化!!

～オオスマアクションで技術者がアドバイス～
令和5年に向けて準備万端!!

(石綿障害予防規則のみならず、関連する大気汚染防止法・都道府県の条例等が段階的に改正施行)



<p>STAGE 令和2年10月1日施行 01 労働安全衛生法</p> <p>解体改修業者向けに建材レベル3の取り扱い改正</p>	<p>STAGE 令和3年4月1日施行 02 大気汚染防止法 石綿障害予防規則</p> <p>直接罰則等が盛り込まれた、法・規則が改正! 一部の除去工事方法が変更!</p>	<p>STAGE 令和4年4月1日施行 03 戸建て住宅等も 調査対象明確化</p> <p>事前調査報告書の電子届け出が義務化に! 戸建て住宅等も調査対象明確化となります</p>	<p>STAGE 令和5年10月1日施行 04 戸建て専門調査者 資格の新設</p> <p>事前調査が有資格制度に!</p>
<p>オオスマ Action 解体・改修事業向けにアスベストセミナーを開催</p>	<p>オオスマ Action 内装設計者などを対象にアスベストウェビナーの開催</p>	<p>オオスマ Action 建設業全般に向けてアスベストガイドブックの更新</p>	<p>オオスマ Action 2028年解体ピーク!? 建材調査者人員の増員 分析技術者の増員</p>

POINT 上記のように、アスベストに関する規制が3年越しで強化されることとなり、今後もさらなる強化が行われていく事が考えられます。オオスマでは、リアル研修「アスベスト採取講習会」などをスタートさせ、分析試料の採取方法を伝授、今後も情勢を見極め、準備を怠らず、新しいアクションを創作していきます。

アスベスト
採取講習会



分析に関する法改正 頻繁に行われる法改正に合わせて対応!

分析方法は基本的に法律に従っており、法改正により都度対応していく必要があります。今回は平成31年4月1日施行となった環境庁告示第46号による土壌関連の検液作成方法の改正に対応した事例をご紹介します。



改正内容の把握 → **機器等の準備
手順書の整備** → **試験運用** → **問題点抽出と改善** → **実運用開始
(新法での試験スタート)**

オオスマ Action

- ✓ 詳細を把握し、試験に必要なろ過器と遠心分離機の手配、手順書の整備等の体制整備
- ✓ 新しい条件(風乾時の温度は30℃未満・ろ紙を30分ごとに交換)に対応するための施策
- ✓ その他、細かな対応を行い、新法律における運用試験の繰り返し

POINT 法改正が行われた時にはスムーズに新しい試験方法に移行することができました。多くのサンプルをミスなく試験するためには、事前の準備が不可欠です。オオスマでは、日々このような活動を行い、品質管理に努めています。



参加者100名超えに成長した

オンラインセミナー Online Seminar



経営企画室
平野 あや

コロナ禍でセミナーが 開催できない...

オオスマでは、2020年6月からオンラインセミナーを毎月開催しています。2021年11月まで含めると、21回、延べ1,000名の方々にご参加いただきました。それ以前にも、セミナーは年数回開催していたのですが、コロナ禍の影響で予定していた会場開催型セミナーの延期を余儀なくされたこと、また訪問営業自粛が続いていたことから、コロナ禍でもできる顧客サービスは何か、と考えた結果、オンラインセミナーを開催することになりました。



成功のためには入念な準備を怠らない!!

<p>テーマの企画</p> <p>世の中の動向、お客様の声、セミナー後のアンケート内容を参考に、テーマの企画を行います。外部の方や社内技術者に講師の依頼をし、日程調整と内容の検討を行います。約2ヶ月前にはPRチラシを完成させ、ホームページで告知、申込の受付を開始します。</p>	<p>講師と プレゼンの準備</p> <p>各講師とは数回の事前打合せを行い、内容の擦り合わせと資料のブラッシュアップを行います。社内の場合はリハーサルを最低2回行い、技術的な内容だけでなく、説明のわかりやすさや資料の見やすさも検討します。</p>	<p>当日までの 運営準備</p> <p>メルマガでの告知、オープニングスライドや司会原稿、アンケートの作成。音質が良くない、画面切り替えがスムーズにできていなかったといった指摘にも耳を傾けて、進行のリハーサルも入念に行っています。</p>	<p>開催、 フォローアップ</p> <p>会議室や配信機材のセッティングなどを数時間前から行います。セミナー中は、投稿をチェックしてQ&Aセッションのファシリテーションを行います。終了後は参加者へアンケートを送付し、回答者へは資料の送付を行います。</p>
--	---	---	--

アンケート結果は、講師の振り返り、今後の企画や顧客サービスの改善に活用します。事務局ではアンケートでいただいた運営に関する指摘を可能な限りすぐに反映して、改善を重ねています。



光が見え始めた2021年、次の時代を皆様と一緒にリードをしていくためオオスミは今必要な準備を進めています。

ACTION 02 サービス向上への準備

分析 漏洩事故に対応するために

分析技術グループ
岩井 芳典



緊急事態に際してお客様のために何を準備・携行するか、「排水処理用の薬剤が漏洩してしまった」場合をまとめました。

目的を明確に

- 【a】漏洩によって危険がないか確認したい。
- 【b】漏洩範囲を確認したい。
- 【c】どのような処置が必要か知りたい。
- 【d】漏洩の原因を明らかにしたい。



などといった目的を正しく理解し、それに沿った準備をすることが大切と考えます。

緊急度、危険度は？

緊急時の対応で最も大切なのは、緊急度や危険度を予測し、それに対応することです。緊急性が高いのに、「準備に手間取り現場到着が遅れてしまった」では話になりません。道具の準備も大切ですが、まずは、緊急性や危険性を正しく予測し、「必要なものは現場で調達する」くらいの発想が必要と考えます。

お客様のことをよく知る

常日頃から、お付き合いのあるお客様の製品や工程、使用されている薬剤、排水処理の方法や現場の状況などを把握し、漏洩事故などのリスクについて考えておくことで、緊急時にスピーディーで的確な行動がとれると考えます。

また、お客様のところに潜む「リスク」を想定し、アドバイスをすることも重要と考えています。

調査 課題解決に繋げるために

調査第2グループ
鮫島 憲一郎



オオスミでは、臭気に関するサービスとして、悪臭防止法による規制基準対比などの「悪臭・臭気調査」のほかに「異臭調査」に関するサービスも行っています。

原因究明のために重要なこと

「異臭調査」の実施前に行う大事なことは、現地地下見とお客様へのヒアリングです。いきなり現地調査を行う場合と、事前に現地地下見をしながらヒアリングを行い、その後現地調査を実施する場合とでは、原因究明の成功率に確かな差が出ます。

事前に、いつ、どこで、どんな頻度で異臭がするのか?どのような異臭がするのか?においの強さはどれ位か?など、原因究明に繋がる情報を丁寧にヒアリングし、調査員自身の目や鼻で現地の状況を確認できていれば、その情報を元に類似事例を調べたり、異臭原因の見当を付けたりすることも可能となり、現地調査はその想定の確認作業のような位置付けとなります。

長年の問題を解決します

「異臭調査」は、お客様が試行錯誤しても長年解決できなかった問題の解決に繋がるため、原因究明ができるとお客様から直接「ありがとう!」と感謝されることが多く、非常にやりがいのある業務になります。これからも、調査前にはお客様の声に真摯に耳を傾け、丁寧な現地地下見を行い、たくさんの「ありがとう!」を頂ける仕事をしていきたいと思えます。



営業 より良い関係を築くために

営業グループ
相馬 秀樹



お客様とお会いする機会が多い営業部では、よりよい関係を築き、長いお付き合いをいただくための準備を常に行っています。

最適なお提案のために

打合せ時にお客様へ調査内容をより理解していただくために、内容に基づくパンフレットや資料の準備をしております。

例えば、東京都内の土壌調査の場合、東京都の土壌調査のリーフレット、オオスミのパンフレット、土壌汚染対策法のガイドライン、インターネットで関連する情報などで提供できるようにしております。



さらに社内での情報共有も行き届いており、オオスミの日報システムによる、過去の商談記録、過去の見積書の提出状況、過去の受注履歴、お役に立てる分析・調査についての最新情報、パンフレットなどを準備し、お客様に対して最適な調査・分析内容を提案できるようにしております。

参加者は延べ1000名に!

まずは1回やってみよう、と手探りで始めたオンラインセミナーですが、「また開催してほしい」という声をいただいたことから、少し継続して開催していくことになりました。

アンケートで寄せられるテーマのリクエストにお応えしているうちに、参加者もどんどん増えて、いつの間にか毎月開催になっていました。

振り返ってみると、やはり近年ニーズが高まっている「事業所の環境法令対策」や、「アスベスト」「溶接ヒューム測定」など、この1年に法改正が施行されたテーマの参加者が多かったことがわかります。特に溶接ヒュームの回は反響が大きく、Zoomにアクセスできない方向けのYoutube同時配信や、当日都合がつかなかった方へのオンデマンド配信も行いました。

今後の展望

最近ではオンラインセミナーを開催する企業や、動画コンテンツでPRや情報提供をするケースも増えています。オオスミでも、オンラインセミナーで蓄積したノウハウや顧客ニーズを活かして、今後は動画配信による技術情報の提供や、現場と連動した実用的なコンテンツの提供を検討しています。

こんなサービスあったらいいな、こんな情報提供をしてくれたら役に立つ!といったご要望がありましたら、ぜひお寄せください。

環境セミナーサービス



受講者数ランキング

- 1 環境法令対策アウトソーシング&廃棄物管理
- 2 環境法令対策シリーズ<騒音・振動規制法編>
- 3 事業所の環境法令対策<基礎編>
- 4 溶接ヒューム法改正セミナー
- 5 内装設計者として知っておくべき「アスベストのリスク」



|| 仕事に備えて ||

オオスミ的 **エクストリーム** 出社 & 週末のリフレッシュ

エクストリーム出社とは？
出勤する前に登山してから出社、ヨガなどの趣味を楽しんだ後に、出社するというリフレッシュを目的に行うもので、働き方改革が進められる中において考えられた特徴ある施策です。

エクストリームとまでは言わないけれども、リフレッシュを目的とした何かを行ってから出社したことがある方の実例を紹介します!!

Q1 出社前に行っている活動や楽しみはありますか？
または以前行ったことがありますか？

YES 29%

アウトドア系 36% ランニング、マラソンしながら出社、筋トレ、散歩 など

清々しい
体が温まり気持ちがいい
爽快
体が軽くなる
ポジティブな感想多数

インドア系 64% 資格勉強、異業種の方との朝活、新聞で世の中の情勢動向の確認、ベランダ菜園の手入れ、音楽を聴く、FB動画や録画したテレビ鑑賞、子供の世話、掃除など

癒しの時間
さわやかな気持ちになれる
ハッピー
気持ちが落ち着く
ポジティブな感想多数

Q2 週末や平日の空き時間に、リフレッシュするために何か行っていますか？

YES 72%

アウトドア系 50% ジョギング、ウォーキング、ストレッチ、ゴルフ、ソフトボール、ヨガ など

インドア系 50% 読書、音楽鑑賞、映画鑑賞、youtube動画鑑賞、昆虫採集、お菓子作り、お酒など

これからもオオスミでは **アタマ** も **カラダ** も
リフレッシュして仕事に臨みます!

新人スタッフに聞いてみた

将来のために、あなたが「準備」してることを教えてください!

チームを引っ張る存在に!

私は3~5年後に材料解析チームを引っ張っていける存在を目指し、日々材料解析や異物調査について勉強しています。

材料解析チームに所属してから、知らないことばかりで学ぶことが山ほどあることを痛感しています。まずは一人で案件をこなせることを目標とし、週一の勉強会や参考書、ハンドブックで知識を増やしつつ、案件の進め方や報告書の書き方を先輩方から学んでいます。また、ゆくゆくは分析業務にも携われるように少しずつ分析の勉強も進めています。

分析技術グループ 初川 悠

指導力の向上!

私は10年後、後輩が情報を得るのに時間をかけず、スムーズに仕事に慣れることが出来るように、教えることが上手になりたいです。疑問点をすぐに無くすことはミスを減らすことにも繋がり、精度を保つ事にもなると考えるためです。

第一歩として、見える化で情報へのアクセスを容易にしたいです。そのための準備として、現在はサンプルの状態メモ、数値の扱い纏め、帰りチェックのタグ、地図の作成を行い、自身の情報整理にも活用しています。

分析技術グループ 佐藤 佳奈恵

頼れる社会人に!

私の十年後の夢は会社に必要とされる人間になることです。

現在、仕事は上長に同行させていただいています。まだ自分一人では仕事をする事ができていないので、まず自分一人でも仕事ができるよう知識や経験を増やしていきたいです。

さらに資格を取得することで仕事の幅を増やしていき、そして十年後には自分が新入社員に仕事に同行させることができるぐらい、オオスミ社員として必要とされる人間になりたいです。

調査第1グループ 森井 凌司

憧れを見つけるために!

私には定年を迎えるまでにミイロタイマイという蝶の生きている姿を見るという夢があります。

ミイロタイマイはニューギニア島に生息している蝶で、子どもの頃、図鑑でみた時から私の憧れの存在です。この夢に向けて、現地ガイドと情報共有しあえる英語力を目指し英会話の勉強を始めました。

まだ、拙い英語力ですが、やがて仕事にも活かせる能力に成長できれば良いと考えています。

調査第三グループ 坂本 実輝

豊かな未来へつなぐ

準備

オオスミ環境アクション

消しにくいホワイトボードの再生

ごみ
ZERO
活動

ある日廃棄物として運ばれてきたホワイトボードを前にして愕然としてしまいました。「どうやって捨てたらよいのだろう？」留め具のねじを外して外枠とホワイトボード部を分離し、ホワイトボード部は発泡スチロールに金属が貼り付けてあるものだったので剥がして分解しました。金属部分は有価回収してもらい発泡スチロール部分は廃プラスチックとして廃棄物として処分しました。分別しないと廃棄できないので時間がかかってもやるしかありません。消えにくいホワイトボードを使い続けるのも分別して廃棄するのも大変なのでホワイトボードを長く使い続ける方法を探して試してみました。



分析技術グループ
松川 晋弥

2つの方法を試してみました

1 フィルムによる再生

作業時間は1時間半



空気が入らないように貼り付けるのに技術がいりますがきれいに仕上がります。小さ目のホワイトボードにお勧めします。



2 コーティング液による再生

作業時間は10分



気軽にできるので少し消えにくくなったかなと思ったらこまめに行うのもよいかもかもしれません。



結果

どちらもホワイトボードの使いやすさの再生を行うことができました。

ホワイトボードを長く使うためのコツ

- ホワイトボードと相性の良い(消えやすい)マーカーを使う
- ホワイトボード消しをきれいに保つ
- 強い力でホワイトボード消しをこすらないようにする

ホワイトボードを長く使うにはどうしたらよいかを考え、調べてみていると知ることができたことが面白かったです。

・地域貢献活動・



小さな自然環境を再現 オオスミ水槽

総務グループ
高橋 正一

お客様にオオスミ周辺の自然環境を知っていただくこと、従業員に癒しの場を提供することを目的として、本社のエントランスに水槽を設置しました。

最初は、水槽のコンセプトや完成後のイメージを固めるため、水族館へ見学に行き、最終的に、会社周辺の自然環境を再現することに決まったため、水槽に入れる生物や流木は、会社付近の川で採取してきました。

底に敷く砂は濁りをとるために、会社の屋上に降った雨水を使って数日間洗浄しました。

準備段階で、多くの方に関わっていただいた水槽は、無事に一周年を迎えました。



本社外周緑化 花壇整備

調査第二グループ
小澤 絵奈

2020年度CSR委員会の活動の一環として、横浜本社外周の花壇整備を行いました！

外周の土が花壇に適した土か分析を行うなど「オオスミ流」の「準備」が進められました。コロナ禍により本社に集まることができない期間も、在宅勤務で苗づくりを行いました。花壇が完成して、地域の方々から声をかけて頂きました！私も通勤途中に花壇を眺めている方を見たことがあり、とても嬉しい気持ちになりました。

今年の春、去年落ちていた種からまた芽が出て自然と花壇が出来ていました！自然の力に驚かされますね。この自然を守るためにも「地球のドクター」としてオオスミは頑張ります。



自給自足への一歩 畑プロジェクト

分析技術グループ
上田 裕史

無農業対象地域に「畑」を借りて、「食物を育てること、収穫して美味しく頂くこと」をコンセプトに始まった畑プロジェクト。

子供たちも参加できることになっており、自分で育てた野菜なら喜んで食べるかもしれないと思い、息子と参加を決めました。最初の任務はジャガイモの種芋の準備でした。扱った経験が無いので、インターネットを頼りに他のメンバーと試行錯誤しながら、会社の給湯室で種芋を分割し、社長室で数週間乾燥させ、なんとか植えることが出来ました。しかし、あまり芽が出ませんでした。振返ってみると、もっと風通しの良い場所で乾燥させた方が良かったことがわかりました。来年はもっと準備を整え、大成功を収めたいと思います。



NEWS オオスマニユース

環境特化型研修 カマクラスをはじめました！

オオスマでは、今年から環境特化型の新人研修をスタートしました。
その名も“KAMA CLASS～鎌倉でオオスマの野外活動～”

身体や頭を使うものまで多彩なプログラム

由比ガ浜の潮風に吹かれながらプラスチックごみ拾い → 重さを競いマイクロプラスチック化の過程を体感

プラスチックゲームス

影響力のある人になるための
神髄を学ぶ
コミュニケーション講座

地球を救うビジネスを営む
「パタゴニア」鎌倉店

海洋プラスチック問題を学ぶ
マーケティング講座

**ショッピング
& 企業活動の勉強**

カリキュラム以外でも、会場までユニークな方法で来ることを課すエクストリーム入社を取り入れ、明治末期に建てられた歴史的にも文化的にも貴重な古民家『旧村上邸』で座学を行うなど、オオスマらしさを追究した研修を実施しました。

『社外にも広げるべき』との声をいただいたことから、今後は年に4回ほど社外向けにも開催する予定です。ビーチクリーン・ワークショップ・プチセミナー・ヴィーガン弁当を通じて、鎌倉で環境を全身で感じる1日。ぜひ、お気軽にご参加ください。



今後進めていく省エネ業務

令和3年4月22日、菅元総理は、我が国における2050年カーボンニュートラルを宣言し、成長戦略の柱として、取組を進めてきました。

2050年目標と総合的で、野心的な目標として、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から26%→46%削減することを目指すことを提言しました。

この提言により、各事業者は2030年度までのCO₂削減や再生可能エネルギーを活用する時系列の方針の見直しが始まっています。

オオスマへのScope1とScope2のCO₂排出量の計算を行うと同時に省エネ診断によりCO₂削減アイテムを提案する業務の問い合わせが増えてきました。

さらに、15のカテゴリから構成されサプライチェーンを含めたCO₂排出量を試算するScope3へ取り組む事業者の声も大きくなってきました。

オオスマとしては、省エネ診断をベースとした業務を進めるとともに、今後、更に求められてくるScope3を視野に入れ、Scope3のカテゴリにもある業種の違いによる『事業者から排出される廃棄物』を活用し、エネルギーに有効活用できるコンサル業務の構築を加速して行きます。また、取り組みとして世界の平均気温上昇を、産業革命以前に比べて2℃未満（努力目標は1.5℃未満）に抑え、気候変動が起きるスピードをゆるめようという目標を見据えたCO₂を排出するエネルギーを削減する総合的なコンサルタントを目指していきます。

1年後に新棟が建ちます

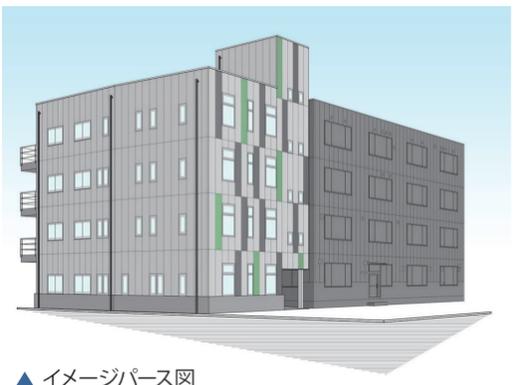
オオスマでは来年の11月竣工を目指して新棟の建築がはじまります。

私たちが横浜市瀬谷区の北新という町から五貫目町に引っ越してきてから30年が経とうとしています。当時は今よりも社員数も分析機器の数も少なく、空間にも余裕があり、最上階のフロアでは卓球や社交ダンスを楽しんだりしたものでしたが、時がたつにつれて動線の不具合や建物の老朽化が目立つようになってきました。

そこで、既存建物の横に新棟を建てて一部のラボを移設することで、既存建物の方の使い勝手も良くしていきたいと考えています。

せっかく新棟を建てるので、今までと同じではなくフリーで使える実験スペースなども用意し、環境教育の場として提供したり、新たなビジネスにつなげていくことも考えています。

「新しい酒は新しい革袋に盛れ」ということわざのように、私たちの新しいビジネスステージを作っていくために新棟を建築します！



▲イメージパース図

オオスマ使用電力は
再生可能エネルギー100%となりました！
これからも、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

10% 屋上に設置する太陽光発電システム + 90% 秋田県八峰町峰浜風力発電所からの電力

私たち「地球のドクター」の仕事

企画提案・セミナー・コンサル → 調査・測定・分析 → 対策・工事・販売

A 環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB、マイクロプラスチックなど	オンラインLABO 見学ムービー
B 労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定など	
C エネルギーソリューション	地球温暖化対策、省エネ診断など	
D 製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらば、こらぼなど	
E 環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品など	

すべての事業分野における膨大なソリューション。これはオオスマが培ってきた強みです。

株式会社オオスマ

本社 〒246-0008 横浜市瀬谷区五貫目町20-17 TEL 045-924-1050	東京支店 〒101-0064 千代田区神田猿樂町2-1-14 A&Xビル 5F TEL 03-3219-5021
---	--

ゼロ・クロニクル4号発行！

夏至・冬至の年2回発行

オオスマでは、『日本の脱・プラとゼロ・ウェイストに貢献したい』との想いで、環境マガジンZERO CHRONICLEを2019年の夏至に創刊しました。

編集後記

記念すべき第10号のイヤーブックいかがでしたでしょうか？近年の情勢の変化に対応していくために準備は必要不可欠です。オオスマの準備を感じて頂けたら嬉しいです。

(編集委員一同)

? オースマイルって？

O-smile は造語ですが、分解すると『O』と『smile』に分けられます。この『O』は株式会社オオスマの頭文字。『smile』は字のごとく笑顔です。Oの smile、つまり私たちオオスマで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと思う心からこのような名前になりました。